

会 議 録

会議の名称		第1回 桜並木学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年5月12日 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		並木中学校会議室B		
事務局（担当課）		生涯学習推進課		
出席者	委員	南 栄一、丸山 美知江、山中 真弓、齋藤 樹恵 増田 望、大平 佳代、樽味 幸恵、鈴木 一成 飯泉 法男、木村 徳一、根津 陽子、永田 孝男 松村 直子 奥沢 志乃、大津 裕明、三村 弘樹 大村 千博、稲垣 章一、末永 康子 渡邊 聡、高崎 満、横山 賢裕		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事：村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議 テーマ「地域と学校の連携事業に必要なものは」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開 会 2 任命書交付 3 挨拶 4 説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて 5 会長・副会長の選出 6 協 議 (1) 学園運営の基本方針について (2) 学校の教育活動や地域の活動事例の紹介 (3) 熟議 テーマ「地域と学校の連携事業に必要なものは」 (4) その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について			

<審議内容>

1 開会

自己紹介

2 任命書交付

- ・机上の任命書を確認

3 挨拶

- ・学園長挨拶

4 説明事項

- ・つくば市のコミュニティ・スクールについて

(村上社会教育主事より)

(1) つくば市の教育が目指すもの

- ・教育大綱の最上位目標「一人ひとりが幸せな人生を送ること」
- ・つくばの「学び」実現に向けて
- ・保護者・学校・地域・行政 社会全体で子供たちの育ちを支える。

(2) コミュニティ・スクールについて

- ・一言でいうと、「地域とともに子供を育む学校」である。
- ・学校運営協議会が設置されている学校がコミュニティ・スクールということである。
- ・コミュニティ・スクールのお話合いは、徐々に地域の方に進行をお願いしたい。

(3) つくば市で進めるコミュニティ・スクール

- ①学校運営の基本方針の承認
- ②学校運営に意見を述べることができる。
- ③教職員の任用について意見を述べるができる。
- ④学校評価

- ・つくば市のコミュニティ・スクールには以上4つの機能がある。

(4) CS協議会委員の立場及び責務

- ・特別職の地方公務員である。
- ・委員は、その地位を営利活動、政治活動、宗教活動等に利用する行為をしてはならない。
- ・委員は職務上知った情報を漏らしてはならない。

(5) コミュニティ・スクール協議会と地域学校協働活動

- ・地域学校協働活動推進員（CSコーディネーター）がコーディネートする。

5 会長・副会長の選出

- ・事務局提案により、南 栄一委員が座会長、丸山 美知江委員を副会長に提案
→了解を得る
- ・南委員と丸山委員の挨拶

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について

○学園グランドデザインについての説明

並木中学校より（渡邊校長）

- ・桜並木学園の教育目標は、つくば市教育大綱「教えから学びへ」「管理から自己決定へ」「認知能力偏重から非認知能力の再認識へ」をもとに「自ら未来をひらく力の育成」と設定した。
- ・学校の教育力、家庭の教育力、地域の教育力をもとに、学園の目指す児童生徒像に向かっていく。

(2) 学校の教育活動の紹介

（桜南小大津教頭より）

- ・全人的成長を目指すために、イメージは「金平糖」である。
- ・知徳体バランスよく育てたい。
- ・一人一人の個性を受け止める。

研究主題

「わからない」に向き合える。自分から意欲的に学べる児童の育成

確かな学力の習得

- ・考えたこと・判断したことを適切な言葉で伝える
- ・わからないことにもあきらめずに向き合う
- ・C Sに向けて

ボランティアの活用

桜南フェスタ

(並木小稲垣教頭より)

- ・学園グランドデザインを受けて、組織目標を決定
- ・目指す児童像は、「知・徳・体」をバランスよく育てていく
- ・目指す学校像は、C Sを基盤とする保護者・地域とともに児童を育む活力ある学校を目指している。

(並木中横山教務主任より)

- ・組織目標は、今年度は「自己調整力」をキーワードに進めていく。
哲学対話は、非認知能力の育成を目指しつつ、認知能力（学力）の向上も目指す。
- ・A I活用は、日々新しくなっている状況なので、教員は研修を行いながら、生徒に還元していく。

(質疑応答)

(根津委員)

学園のグランドデザインをA 4サイズでいただきたい。いつでも立ち返るようにしたい。

(松村委員)

自己調整力と哲学対話について詳しく知りたい。

- ・グランドデザインの承認について → 承認

(3) 熟議

- ・「地域と学校の連携事業に必要なものは」
各校予算が出ているので、その使い方を話し合う。

(高崎教頭より説明)

(各校熟議)

(南座長)

- ・ボランティアで行う部分と謝礼でお願いする線引きが難しいが、話合いをしていただきたい。

- ・三校で同意したもの

学校教育パートナーの募集のチラシの作成

幟を各校2本ずつ作成

講師・ボランティア謝礼について

「学習支援・子ども見守り支援・体験補助」は、保護者は除く

「出前授業等講師・環境整備支援」は、保護者も含める

P T Aで主催する除草作業は含めない。

- (4) コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

高崎教頭より

第2回は7月10日(木)10時から、並木小で実施する。

7 閉会

以上を持ちまして、令和7年度 第1回 桜並木学園コミュニティ・スクール協議会を閉会します。

令和7年度 桜並木学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回:5月12日 月曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1) 地域住民	南 栄一	元学校評議員
2	(1) 地域住民	丸山 美知江	元学校評議員
3	(1) 地域住民	店曲 孝仁	元学校評議員
4	(3) 地域学校協働活動推進員	山中 真弓	元PTA会長
5	(2) 児童・生徒の保護者	齋藤 樹恵	PTA副会長
6	(2) 児童・生徒の保護者	天谷 恭子	PTA副会長
7	(2) 児童・生徒の保護者	増田 望	
8	(2) 児童・生徒の保護者	大平 佳代	
9	(3) 地域学校協働活動推進員	樽味 幸恵	
10	(2) 児童・生徒の保護者	鈴木 一成	昨年度PTA共同代表
11	(7) 関係行政機関の職員	飯泉 法男	並木交流センター所長
12	(7) 関係行政機関の職員	木村 徳一	並木児童館館長
13	(3) 地域学校協働活動推進員	根津 陽子	民生委員
14	(7) 関係行政機関の職員	木村 勝平	桜南児童館館長
15	(4) 学識経験者	永田 孝男	桜南幼稚園園長
16	(2) 児童・生徒の保護者	松村 直子	PTA会長
17	(2) 児童・生徒の保護者	桐原 奈緒也	PTA副会長
18	(5) 各学校長	奥沢 志乃	
19	(6) 教職員	大津 裕明	教頭
20	(6) 教職員	三村 弘樹	教務主任
21	(5) 各学校長	渡邊 聡	
22	(6) 教職員	高崎 満	教頭
23	(6) 教職員	横山 賢裕	教務主任
24	(5) 各学校長	大村 千博	
25	(6) 教職員	稲垣 章一	教頭
26	(6) 教職員	末永 康子	教務主任
27			
28			
29			
30			

令和7年度第1回桜並木学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和7年 5月12日（月）

10：00～

場所：並木中学校 3階会議室B

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動や地域の活動事例の紹介

(3) 熟議 テーマ「地域と学校の連携事業に必要なものは」

(4) その他

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば市教育大綱

- ◆「教え」から「学び」へ
- ◆「管理」から「自己決定」へ
- ◆「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え合い、
みんなが生き生きとした学校～

令和7年度桜並木学園グランドデザイン

いばらき教育プラン

活力があり、県民が日本一幸せな県

茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一
子どもを生み育てやすい県を目指します

桜並木学園教育目標

自ら未来をひらく力の育成
～進んで学び思いやりの心やたくましさを育む学園～

学園のめざす児童生徒像

知

●進んで学び新たな発想のできる児童生徒●

- ・小学校での教科担任制の推進
- ・小中学校教員の連携を通じた学習支援による専門的な知識、技能の習得
- ・保護者や研究施設など地域の教育資源や人的資源を生かした体験活動による探究的な学びの充実
- ・ICT機器の有効活用で実現する個別最適な学び・協働的な学び

徳

●自他のよさを認め思いやりの心で積極的に周囲と関わる児童生徒●

- ・認め合い、高め合う、日々の人間関係づくり
- ・自己肯定感を高め、自他の価値観を尊重する道徳の授業の充実
- ・「考え、議論する」道徳の時間の工夫
- ・人権感覚を磨く学園ハートフルフォーラムの実施(児童生徒主体の「いじめ」撲滅推進)
- ・デジタル・シチズンシップ教育の推進(情報モラル・SNS等)

体

●可能性に向かって自ら鍛えた逞しく行動できる児童生徒●

- ・学校体育の充実(「体力アップ推進プラン」の推進・体育的行事の充実)
- ・学校健康教育の充実(がん教育、性教育、食に関する指導、薬物乱用防止)
- ・「いばらきキャリア・パスポート」を活用した系統的なキャリア教育の推進
- ・不登校解消に向けた3校連絡協議会の充実(Sルーム活用の情報共有)
- ・中1ギャップの解消と中学生のリーダーシップ育成を図る交流活動の充実

地域と共に児童生徒を育む、活力ある学園・学校づくり ～コミュニティ・スクールへ～

保護者・地域と共に

社会に開かれた教育課程

- 児童・生徒・家庭・地域の実態やニーズを把握し、課題を明確にして、規範意識や自主性、社会性を醸成
- 地域人材のコーディネート、3校PTAによる児童生徒の健全育成や学園全体の安全対策、情報交換の実施

◆ 研修テーマ ◆ 自ら考え対話し、学び合う児童生徒の育成～学びの連続性を意識して～

学校の教育力

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習指導の充実(授業規律の徹底)
- ◎『授業改善プラン』は、RPDCAサイクルを計画的に活用し検証(P(計画指導)/4月実施・C(振り返り・評価)/7月、11月実施)
- ・インクルーシブ教育、特別支援教育の推進(合理的配慮に基づく支援の充実)
- ・全教科・領域におけるタブレット端末の積極的な活用
- ・校内研修の充実【地域・外部人材の積極的な活用/教育相談アドバイザー・大学教授】
- ・本物に触れ、学び・感じる体験的・探究的活動の充実(キャリア教育、人権教育等)
- ・幼・保・小・中の円滑な接続と交流の充実
- ・教育の質の向上を目指した働き方改革

家庭の教育力

- ・PTA活動や学級・学年懇談会を通じた教育活動への理解と協力
- ・授業参観や二者・三者面談を通じた児童生徒理解と健全育成
- ・学校行事(儀式・体育・文化・校外活動・奉仕的な行事)における協力
- ・キャリア教育、健康・安全に関する教育等についての情報共有と活用
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」など、心身ともに健康な生活へのアプローチ
- ・学校保健委員会での情報共有と活用

地域の教育力

- ・育てたい子供像や共通目標の共有
- ・地域と連携したあいさつ運動、交通安全対策、不審者対策
- ・関係諸機関との連携の充実
- ・地域に根差した学園防災教育の実践
- ・職場体験学習を始めとする地域の教育力を生かした教育活動の展開
- ・コミュニティ・スクール推進会議の充実

桜並木学園コミュニティ・スクール

令和7年度

桜並木学園学校教育

パートナー募集

地域学校協働活動ボランティア

ご登録をおまちしております！

特別な資格がなくても、すきま時間で、「桜南小または並木小、並木中の子どもたちに何かサポートができたら」という気持ちがある方であれば、保護者、地域の方、学生の方など参加することができます！

対象：地域の方、学生、保護者等

※活動における保険も準備されています。

●各活動に対する謝金あり（ただし保護者を除く）

学習支援

学校の授業のリポート

ミシン・裁縫補助
図工ノコギリ、彫刻刀等
補助
実験補助

子ども見守り 支援

休み時間の見守り
一緒に遊ぶ

環境整備支援

プール清掃
除草作業
花壇づくり
樹木伐採
池清掃

体験補助

町探検
生き物探し
野菜の植え方
昔遊び指導

出前授業講師

文化・歴史講師
お仕事講師
専門分野講師
華道・茶道
書道・絵画

桜南小

並木小

登録は右のQRコード、電話からお願いいたします。

登録QRコード
はこちらから

桜南小 029-851-2130 教頭まで

並木小 029-851-2806 教頭まで

並木中 029-851-2806 教頭まで

並木中

